

車載診断装置(OBD)アフターマーケットの規模、シェア、成長レポート(2032年まで)

Fortune Business Insightsによると、コネクテッドカー技術、排出ガス規制、そして予知保全の要件が自動車サービスエコシステムを再定義する中、世界の**[オンボード診断\(OBD\)アフターマーケット](https://www.fortunebusinessinsights.com/onboard-diagnostics-obd-aftermarket-108045)**は急速に発展を続けています。世界のOBDアフターマーケットは2024年に68億4,000万米ドルと評価され、2025年には74億6,000万米ドルに達し、さらに2032年には160億1,000万米ドルへと大幅に成長すると予測されています。これは、予測期間中に11.5%という驚異的な年平均成長率(CAGR)を達成したことを示しています。

情報源:

<https://www.fortunebusinessinsights.com/onboard-diagnostics-obd-aftermarket-108045>

市場の推進要因

市場成長の重要な原動力となっているのは、現代の自動車における高度な電子機器とコネクティビティ機能の統合です。自動車が電子制御ユニットやセンサーにますます依存するようになるにつれ、正確な診断の必要性が急激に高まっています。OBDシステムは、問題をリアルタイムで検出し、修理効率と車両の安全性の両方を向上させます。

排出ガス規制への適合も重要な要素です。世界各国政府は排出ガス規制を厳格化しており、車両の排出ガス監視にはOBD-II以降のシステムが不可欠となっています。これらのシステムは規制遵守を保証し、検査プログラムをサポートするため、乗用車と商用車の両方で需要を押し上げています。

使用状況ベースの保険(UBI)の普及も、OBDアフターマーケットの成長を後押ししています。保険会社は運転行動のモニタリングにOBDデバイスを採用し、個々のドライバーに合わせた保険料の設定を可能にしています。この傾向は急速に拡大すると予想されており、OBDドングルやテレマティクス対応診断ソリューションの需要が高まります。

さらに、IoTベースの予知保全も勢いを増しています。コネクテッドOBDツールにより、フリートオペレーターや個人はエンジンの状態を追跡し、部品の故障を予測し、ダウンタイムを削減できます。これらの機能により、OBDソリューションは運輸会社、物流フリート、ライドシェア事業者にとって魅力的なものとなっています。

最後に、特に先進地域では、世界的に車両の老朽化が進み、高価な OEM サービスパッケージではなく、コスト効率の高いアフターマーケット メンテナンスを選択する消費者が増えており、OBD アフターマーケットがさらに強化されています。

市場の制約

力強い成長にもかかわらず、課題は依然として残っています。高度なOBDシステムは高額になる可能性があり、予算に敏感な消費者の参入を阻んでいます。また、設定や操作が複雑だと感じるユーザーもあり、技術に詳しくない車両オーナーの導入を阻んでいます。OBD対応テレマティクスに関連するデータプライバシーに関する懸念も、普及に影響を与える可能性があります。

市場セグメンテーション

タイプ別

- ベーシックシステムは
2024年に最大のセグメントとなり、総売上高の約63%を占めました。これには、整備工場や個人消費者に広く使用されている標準的なOBDスキャナーや基本的な診断リーダーが含まれます。
- 高度なシステムは
、リモート診断、リアルタイムの車両監視、テレマティクス統合、クラウドベースの分析の需要に支えられ、2025年から2032年にかけて最も急速に成長すると予想されています。

アプリケーション別

- エンジン診断は市場を支配しており、2025年には約49%を占めると予測されています。厳格な排出ガス規制とエンジン性能規制が主な推進力となります。
- 排出システム各国がより厳しい汚染基準を導入し、高度な監視ツールを必要とするにつれて、排出システムは急速に成長しています。
- その他の用途には、トランスミッション、燃料システム、ボディエレクトロニクスなどがあります。

車種別

- 乗用車は
最大のセグメントであり、2025年には約59%のシェアを占めると予想されています。

す。個人所有の自動車の増加とアプリベースのOBDツールの使用の増加が需要を支えています。

- 小型商用車(LCV)は、最も急速に成長する自動車カテゴリーになると予測されています。eコマース、地域配送サービス、そして電気自動車(LCV)の普及が、このセグメントの成長を牽引しています。

地域別インサイト

北米

2024年には世界市場の41.81%を占め、市場規模は28億6000万米ドルに達すると予測されています。この成長は、厳格な排出ガス規制、コネクテッドカーの普及率の高さ、そして老朽化する車両の増加によって牽引されています。米国は、OBD-IIの義務化とテレマティクスの普及拡大に支えられ、依然として市場をリードする国です。

ヨーロッパ

2025年には25億8000万米ドルに達すると予想され、2032年までの年平均成長率は12.10%と予測されています。この地域は、先進的な自動車インフラ、厳格な環境規制、そして診断技術の積極的な導入といった恩恵を受けています。英国、ドイツ、フランスが主要な市場となっています。

アジア太平洋

最も急成長を遂げている地域として特定されています。自動車生産の増加、テレマティクスの普及拡大、コネクテッドカーサービスへの需要増加を背景に、2025年には11億2,000万米ドルに達すると予測されています。中国、インド、日本、韓国は、自動車のデジタル化とテレマティクス対応保険プログラムをリードしています。

その他の地域

中南米、中東、アフリカの一部における自動車所有率の増加とサービスインフラの拡大により、2025年には約6億5,000万米ドルに達すると予想されています。

競争環境 - 主要プレイヤー

OBDアフターマーケットはダイナミックで競争が激しく、グローバル企業や革新的なテレマティクスのスタートアップ企業が成長に貢献しています。Fortune Business Insightsによると、主要プレイヤーは以下のとおりです。

- ロバート・ボッシュGmbH

- コンチネンタルAG
- ZFフリードリヒスハーフェンAG
- CalAmp株式会社
- ジオタブ株式会社
- HELLA GmbH & Co. KGaA
- オーテル インテリジェント テクノロジー株式会社

これらの企業は、製品ポートフォリオの拡大、IoTベースの診断への投資、クラウド対応テレマティクス・プラットフォームの構築に注力しています。また、モバイルアプリベースの診断ツールやUBIに特化したOBDソリューションを提供する新規参入企業も現れています。